

# 新入大卒錬成講座

開設趣旨書  
講座概要  
実施要領

(株) 日本経営開発研究所

〒105-0022

東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング3階

電話 東京(03)6721-8607番(代表)

FAX 東京(03)6735-4607番

H P <http://www.nihon-keieikaihatsu.co.jp>

e-mail [info@nihon-keieikaihatsu.co.jp](mailto:info@nihon-keieikaihatsu.co.jp)



\*より詳細な問合せは上記に

## 新入大卒錬成講座開設趣旨

(株)日本経営開発研究所

日本の経済の前途は益々厳しく、しかも日本の賃金水準はアメリカ並とも思える水準になって参りました。しかも日本では終身雇用制の慣習により、一度採用した者は容易に解雇することはできません。また途中から人材が欲しいといってもなかなか入手できません。故にどうしても優秀な新卒を採用し、これを人材として育てることを考えざるをえません。

そのような意味あいから、このような状況のなか、どこの会社でも人間の頭数はむしろ減らしたいと考えながらも、優秀な後継者は、歯を食いしばっても採用してゆきたいという感覚をお持ちのことと思います。特にオイルショック以後は十数年来初めて買手市場として、ある程度入社人材の選択を企業に許す環境となりました。そのため、しっかりした会社では将来に備えて、この際苦しいながらも、優秀な人間がいたら是非採用したいものと、考えているところが多いと思います。

しかし、どんなに試験をし、調査を行っても本当に安心できる人間かどうか、今日の社会、教育、環境のなかでは心配です。また新卒は入社して一年位のうちに、社会とか企業というものの感覚をつかんでしまいます。もしそれが不適切なものであれば、その人は企業や社会をそのようなものとして認識してしまいます。一回そういう先入観が形成された人間を基礎から再教育することは非常に困難なことです。

そこで優秀な企業は新入社員訓練に力を入れる訳です。大学卒の新入社員教育は三ヵ月位みっちりやらなければなりません。特にそのうちの一ヵ月位は合宿の猛訓練をやる必要があります。十年来私はいくつかの企業で新入社員訓練（主として大卒）のカリキュラム編成や指導をして参りました。そしてこのようなしっかりした新入社員訓練をした会社は、皆、非常な成果を得ております。

ところが大卒新卒採用が10人前後の中堅企業以下の会社では、その少人数の対象に左記の如き徹底した教育をしようとしても、教育対象が少人数で、「適正規模」に達しないために、もしやるとすれば非常にコストの高いものになります。また、優秀な社員インストラクターをつき切りにも不可能です。そのためつつい「必要」は感じながらも一週間か二週間程度のオリエンテーションでお茶をにごし、後は職場巡回程度の教育で済ませざるをえないのが実情です。

これでは一番大切な「我々企業人はいかに生きるべきか」「企業とか会社は我々の情熱をぶつける対象として価値あるものである」といった基本的教育をすることは困難です。

このような判断から、私共研究所のクライアント（依頼）会社のうち、大学新卒10人前後の各企業を対象に、大学新卒の新入社員訓練を私共がお手伝いするプログラムを編成致しました。

貴社においても、このプログラムは非常に時宜を得たものと考えますので、是非ご参加下さるよう御案内申し上げます。

1977年（昭和52年）12月

### 追 補

上記は1977年（昭和52年）に本講座を開設した際の趣旨であります。今、我々は、“VUCA”の時代に直面していると言われます。“VUCA”とは、「Volatility（変動性）」「Uncertainty（不確実性）」「Complexity（複雑性）」「Ambiguity（曖昧さ）」の頭文字から成る造語ですが、UKのEU離脱、AI（人工知能）技術の急速な発展、等々、社会においても技術においても、確かに先が見通せない時代であると言えます。この“VUCA”の時代において、企業が存続発展していくためには、過去の経験に頼るだけではなく、新しく柔軟な発想や取組がより必要であり、そして、これを支えるものは、社員の自主性・自発性に他なりません。将来を期待しうる新大卒を確保し、不透明な時代における経営の担い手として正しいスタートを切らせしっかり育成にあたることは、中堅企業の将来の命運を決する課題となったといえると思います。

私共も、この「新入大卒錬成講座」に課せられた使命の重さを痛感しつつ、一層の講座の充実と成果の向上をめざして奮闘する所存であります。

2016年（平成28年）11月

## 新入大卒錬成講座 基本プログラム

合宿研修前	<u>事前宿題</u> テキスト「企業および企業人」精読・各種アセスメント実施・自分史作成
-------	--------------------------------------------------

### 【第一セッション】

テーマ：企業人としての思考（これからの世界・日本の見方・考え方／企業の見方・経営理念のあり方）

	午 前	午 後	夜
第1日 (月)	昼 集 合	<u>オリエンテーション講義</u> 「本講座の意義と受講上の心構えについて」 <u>講義</u> 「日本経済の歩みとこれからの課題」	<u>小グループ討議</u> 「これからの世界・日本の見方・考え方」
第2日 (火)	<u>MDP</u> 「これからの世界・日本の見方・考え方」 <u>講義</u> 「生産性と付加価値」	<u>MDP</u> 「企業とは何か・経営とは何か」	<u>論文作成</u> 「企業の運命と従業員の運命」
第3日 (水)	<u>論文発表</u> 質疑・コメント・補足講義	<u>第2セッション</u> <u>オリエンテーション</u> 「ビジネスゲームルール解説」 「計算演習」	<u>グループディスカッション</u> 「ビジネスゲーム長期経営方針検討」

### 【第二セッション】

テーマ：ビジネスゲームに学ぶ経営のあり方・企業人のあり方

	午 前	午 後	夜
第4日 (木)	* ビジネスゲーム演習		
第5日 (金)	* ビジネスゲームを通じて学ぶ経営のあり方（GD・発表・全体討議・コメント）		
第6日 (土)			

【第三セッション】

テーマ：これからの企業人のあり方（これからの経営と企業人のあり方／新入大卒社員の努力課題）

	午 前	午 後	夜
第7日 (日)	講義 「これからの日本の 人をめぐる経営の在り方」	MDP 「日本における経営の特質」  ケース・スタディ 倒産ケース	グループ <u>ディスカッション</u> 「これからの日本の 経営のあり方と 基幹社員のあり方」
第8日 (月)	グループ <u>ディスカッション全体討議</u>  発 表 質 疑 コメン	MDP 「企業人のあり方」  講義 「企業人の能力向上法」	論文作成 「これからの企業人としての 私のあり方」  <u>目標設定</u> 「スタートとしての 3ヵ月後のありたい姿」
第9日 (火)	<u>論文発表</u> 質疑・コメント  <u>終講式</u> 終了スピーチ・終了講義	昼食後解散	

(注－1) プログラムの一部を変更する場合がありますので、ご了承下さい。

合宿研修後 3ヵ月間	<u>コーチングセッション</u> 合宿研修で設定した「3ヵ月後のありたい姿」をテーマに、月2回、3ヵ月間にわたりコーチングセッション（1回60分）を行い、企業人人生のスタートにあたっての学習目標や行動の習慣化のためのフォローアップを行います。 セッションは原則、電話で行います。（マイク付きイヤホンを提供・通信費は弊社負担） セッション時以外でも、コーチングのテーマに関してはメールによる相談対応を行います。
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注－2) セッションの日時は、合宿研修終了後に受講生本人（または人事ご担当者）と調整の上、6回分を予め決めます。（予定変更の相談には応じます。）

## 2018年 新入大卒錬成講座実施要領

日 時 2018年5月7日(月)～5月15日(火) ※合宿研修

場 所 山形県上山市 蔵王坊平高原 ライザ・ウッディロッジ

交 通 ① 到着の日は、東北・山形新幹線かみのやま温泉駅にバスを出します。  
東京発8:56→かみのやま温泉着11:28分の東北・山形新幹線  
「つばさ129号」をご利用下さい。  
② 現地直行の方は、12:00までに「ライザ・ウッディロッジ」に御集合下さい  
(山形空港より車で1時間20分、かみのやま温泉駅より車で30分位です)。  
( **ダイヤ変更の可能性もあります**ので上記詳細は、受講申込後にお送りする「**事前留意事項**」で御案内します。 )

参加対象 a 新入大卒社員 または 第二新卒および若年層の中途入社社員

定 員 25人

参加料 360,000円(消費税別)  
※9日間の合宿研修および3ヵ月間のコーチングセッション、資料代、宿泊費等含む

参加手続 参加申込書を弊社宛にe-mailまたは郵送にて送付していただきます。

### 参加迄の手順

1. 申込をいただきますと、当方より会社および本人に受付の連絡をすると共に「**事前留意事項**」、  
課題図書『**企業および企業人**』(七訂版)及び**その他事前課題**をお送りします。
2. 上記課題に取り組むためにも約1か月は準備が必要ですので、  
申込確定締切り：3月末日(参加者確定のこと)  
と致します。

### 終了時間について

以下の新幹線に間に合うように終了します。

東京・山形新幹線 つばさ144号(かみのやま温泉発14:13→東京着16:48)に間に合うようバスを出します。

( **ダイヤ変更の可能性もあります**ので上記詳細は、「**事前留意事項**」で御案内します。 )

以上

## 新入大卒錬成講座 受講申込書

受講要領了承の上、新入大卒錬成講座を受講致したく申し込みます。

会社	社名及び代表者名	
	住所・電話番号	〒 TEL ( ) —
連絡責任者	所属部署・電話番号	TEL ( ) —
	役職	
	ふりがな	
	氏名	
	e-mail・address	
受講者概要	受講者人数	_____人
	受講者の基本属性	該当するものに✓ <input type="checkbox"/> 新卒入社社員 <input type="checkbox"/> 入社1～3年目社員（中途入社含む） <input type="checkbox"/> その他 ( )
	受講させる目的	

※上記内容を e-mail にて info@nihon-keieikaihatsu.co.jp 宛にお送り頂いても結構です。

※上記申込とは別に以下の事項を記載した受講者リストを e-mail にてお送り下さい。

- ①受講者氏名、②ふりがな、③e-mail・address、④生年月日、⑤入社年月日、  
⑥配属（予定）部署、⑦本人連絡先（携帯電話番号）、⑧出身大学および専攻